

講演大会講演申込書記入要領およびコード表

1. 申込み講演と連続して同時に発表を希望する講演(連報)がある場合には、その講演者名を記入する。
2. 申込み講演の発表を希望する部会の口に×印を付け、中分類項目を下表のコードにより希望順に最大3つ記入する。

高温プロセス			社会鉄鋼工学			材料の組織と特性															
大分類	コード	中分類	コード	中分類	大分類	コード	中分類	大分類	コード	中分類											
プロセス基礎 (110)	111	熱力学	301	鉄鋼グローバルエコロジー	A群：材料の現象等による分類	601	状態図	化学的特性 (670)	671	表面構造											
	112	移動現象	302	鉄鋼開発経済			602			拡散	672	表面電気化学									
	113	高温融体物性	303	鉄鋼社会動態			603			凝固	673	各種表面反応									
	114	組織形成・凝固	304	鉄鋼資源循環システム			604			偏析	674	各種表面処理材の特性									
ノーベルプロセス (120)	121	プラズマプロセス	305	鉄鋼産業リソース			相変態・組織制御 (600)			605	介在物	675	676	耐食性、耐酸化性							
	122	材料電磁プロセス	306	鉄鋼関連工学							606			拡散・無拡散変態	677	応力腐食割れ					
	123	先端材料製造	307	鉄鋼法工学							607			時効・析出	678	水素吸蔵特性					
	124	表面プロセス	計測制御システム工学								608			回復・再結晶・粒成長	679	生体反応性					
	125	金属製精錬	401	計測・検査							609			集合組織	680	触媒反応					
製鉄原料処理 (130)	131	石炭・コークス	402	制御			計算材料学 (620)			621	状態図計算	鋼板 (700)	701	厚板(低炭素鋼, 低合金鋼, 各種ハイテン, 耐食鋼等)							
	132	原料・焼結	403	情報システム							622			現象のモデリング, シミュレーション	702	熱延鋼板・鋼帯(低炭素鋼, 低合金鋼, 各種ハイテン等)					
	133	塊成化処理(ペレット)	404	FA・CIM	623	組織・材質予測		703	冷延鋼板・鋼帯(極低炭素鋼, 低炭素鋼, 低合金鋼等)												
	134	設備	405	画像処理・信号処理	624	データベース		704	表面処理鋼(Al, Zn, Sn等金属被覆鋼, 非金属被覆鋼, 有機被覆鋼等・前・後処理を含む)												
製鉄プロセス (140)	141	高炉	406	自動化・省力化	物理的特性	630		磁気特性, 電気的特性, 熱的特性, 光学特性等	705		705			電磁用鋼(軟質磁性材料等)							
	142	還元鉄	407	生産管理・計画				力学的特性 (640)						641	弾性特性*(1)	711	711	機械構造用鋼(低合金鋼, 中・高炭素鋼, 各種表面硬化鋼, 軸受鋼, 非調質鋼, 快削鋼等)			
	143	設備	408	物流システム											642			強度, 変形特性*(2)	712	712	工具鋼(各種工具鋼, 金型・ローレル用鋼, 超高張力鋼等)
	144	耐火物	409	知能化・人工知能応用											643			破壊挙動			721
新製精錬 (150)	151	溶融還元	410	プラント計装	加工特性	650		加工性, 成形性, 被削性, 溶接性等	722		722			その他							
	152	スクラップ	411	設備診断・保全, 操業診断				表面技術 (660)						661	溶融めっき	723	723	ステンレス鋼			
	153	新鉄源	412	情報処理											662			電気めっき	740	740	超耐熱合金, 材料の高温特性を含む
	精錬 (160)	161	溶鉄処理	413			プロセス解析			663		気相めっき	750		750			チタン・チタン合金, 軽量合金, 金属間化合物, セラミックス等			
162		電気炉	414	その他	664	化成・機能処理	760	760	溶接・接合材料, 複合材料, 接点材料, 生体材料等												
163		転炉	創形創質工学			材料・プロセスの評価・分析			201	サンプリング	770	770	上記材料の種類・形状の中分類に該当しないもの								
164		二次精錬	501	厚板製造	202		前処理	* (1) : 剛性率, 比例限 * (2) : 低温・常温・高温強度, 変形能, 超塑性, クリープ, 疲労等 * (3) : 延性, 脆性, 破壊靱性, クリープ, 疲労, 摩耗, 各種環境脆化等 分類コード選択に当たっての留意事項: 1. 第一希望でA群を選択された方は第二希望ではなるべくB群から選択して下さい 2. 第一希望でB群を選択された方は第二希望ではなるべくB群から選択して下さい													
165		ステンレス・高合金鋼	502	厚板利用	203		元素分析														
166		耐火物	503	薄板・箔材製造	204		析出物・介在物分析														
凝固プロセス (170)	171	普通連続 casting	504	薄板・箔材利用	205		表面・状態解析														
	172	ニアネットシェイプキャスティング	505	表面処理材製造	206		結晶構造解析														
	173	特殊 casting, 半凝固	506	表面処理材利用	207	有機関連分析															
	174	特殊 casting, 半凝固	507	形・条材製造	208	環境分析															
	175	特殊 casting, 半凝固	508	形・条材利用	209	分析の自動化・システム化															
リサイクル環境・エネルギー (180)	181	エネルギー	509	棒・線材製造	210	オンサイト・オンライン分析															
	182	スクラップ(非鉄金属を含む)	510	棒・線材利用	211	センサー															
	183	産業廃棄物	511	管材製造	212	標準試料・分析の標準化															
	184	都市廃棄物	512	管材利用	213	その他															
	185	スラグ・ダスト	513	鋳鍛品製造	214																
			514	鋳鍛品利用	215																
			515	鋼構造品製造	216																
			516	鋼構造品利用																	
			517	粉粒体・製品製造																	
			518	粉粒体・製品利用																	
			519	ロール・工具・潤滑																	
			520	数値モデリング																	
			521	接合・結合																	
			522	切断・切削																	
			523	設備・保全																	

3. 講演の申込みは講演発表者一人当たり3件以内に限られる。一講演当たり、プログラム掲載の著者は6名以内とし、それぞれの勤務先・所属略称を下記例に従い記入する。

記入例：東大工，東北大素研，新日鐵プロ研，NKK総研，川鉄技研，住金未研，神鋼加古川，金材研

4. 講演申込書記載の講演題目は、プログラムに掲載されるので、和文・英文共に講演概要原稿と同一とする。連報の場合には申込み講演の内容を表す主題に添えて、一連の報告内容を表す副題を記載する。

例：野呂影義と日本鉄鋼協会の創立(日本鉄鋼協会の歴史-1)

5. 講演要旨の記入要領：著者抄録の形で能動態を用い、日本語150字程度で要旨だけを読んでも内容が把握できるよう、目的・対象・方法・結果・結論を記述し、本文中の図表や数式は引用せず、用字・用語を統一する。抄録内で定義していない限り、広く慣用されていない述語、略記、記号は使用しない。欧文述語は慣用のカナあるいは欧文標記を用いるが、慣用されていない場合には原語あるいは括弧内に原語を付記した適切な和訳語で表す。抄録には題目が伴うので、表題で分かることは繰り返さない。手書きの場合は昇目に一字ずつ明瞭に書き込む。ワープロで印刷したものは枠内に張り付ける。